

令和4年4月吉日

保護者各位

新宿区立四谷小学校  
校長 石井 正広

## 令和4年度 学校経営の方針

### 1 本校の教育目標

人間尊重の精神を基に、広く国際社会に協調できる心豊かで心身ともにたくましい、主体性をもつ児童の育成を目指し、本校の教育目標を次のように掲げる。

- ◇自ら学び、よく考える子
- ◇豊かな心をもち、思いやりのある子
- ◇最後までやりぬく、たくましい子

四谷小の合言葉

よい子

つよい子

やさしい子

### 2 目指す学校像と基本方針

#### (1) 子どもにとって「安心して自己実現ができる学校」

子供一人一人が安全で安心して学び、できる・分かる・もっとやりたいという学ぶ喜びを味わい、互いのよさや成長を認め合うことのできる学校づくりを目指す。

#### (2) 保護者や地域にとって「信頼して協力できる学校」

子供のよりよい成長を共に願い、迅速・親身・温かい対応を通して、学校と保護者・地域が連携して、教育（共育）を行うことのできる学校づくりを目指す。

#### (3) 教職員にとって「協働して教育実践できる学校」

教職員としての専門性を磨き、学び合い、支え合い、高め合いながら、組織的に課題解決に取り組むことができる学校づくりを目指す。

### 3 教育目標を達成するための基本方針

#### (1) 「自ら学び、よく考える子」の実現に向けて

自らすすんで学習に取り組み、自己の目標を達成する子を育てます。

- ①どの学級でも「すすんで学習に取り組む姿勢」を指導します。
- ②問題解決的な学習を重視し、学習のめあてや問いを意識して、自分の考えをもち、友達と学び合い、自分の考えを深める学習展開を工夫します。
- ③生活科・社会科・総合を中心に、見学・体験的活動や人と関わって調べる活動を展開しています。
- ④3年生以上の算数の習熟度別指導で個に応じた指導をするとともに、GIGAタブレットのドリルパークなどを活用して個に応じた指導を充実させていきます。
- ⑤GIGAタブレットを効果的に活用して、教育活動の充実を図り、児童のICTスキルを高めます。○3年生以上で図工、音楽（2年生から）、英語、家庭科の専科教員を配置し学習の充実を図ります。

#### (2) 「豊かな心をもち、思いやりのある子」の実現に向けて

互いを認め、約束を守り、人の役に立つことを喜びとする子を育てます。

- ⑥学校や学級のルールの遵守と挨拶・規範意識の向上を全教員が同じ姿勢で指導します。また、新型コロナウイルス感染防止の取組を継続し、状況を鑑みて3密に配慮した学校行事・学年行事を行います。
- ⑦生命尊重の教育、人権尊重教育、いじめの未然防止の取組を全学級で行います。
- ⑧学校行事や縦割り班活動、クラブ活動や委員会活動、子ども園や中学校との連携、金管バンドや児童市立干布小学校との交流、地域の方々の学習支援などを通して様々な人との交流を進めます。
- ⑨新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、外部講師や保護者・地域の支援のもとで、花や野菜の栽培、環境教育・食育など環境美化や環境教育の充実を図ります。
- ⑩違いや多様性を大事にするとともに、特別支援教育の充実に向けた取組を推進します。

#### 【特別支援教育の推進について】

「特別支援教育」とは障がいのある児童の自立に向け、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な指導及び必要な支援を行うものです。平成24年の文部科学省の調査では、発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）の可能性のある児童生徒が6.5%程度の割合で在籍することが明らかになっており、本校では次の取組をしています。

- 個別の支援策を検討して「学校生活支援シート」を活用して保護者と連携した支援を行います。
- 保護者の希望により発達検査の結果を踏まえ特別教育推進委員（週1～2時間）の配置を申請します。
- 保護者の希望に基づいて教育委員会で審議して必要と判断されると、まなびの教室の（週1～2時間の取り出し）指導を受けることができます。
- 個別の支援が必要な児童についての情報を校内の教職員で共有して、協働して支援を行います。

### (3) 「最後までやりぬく、たくましい子」の実現に向けて

目標に向かってやりぬく丈夫な心と体を育てます。命を守り大切に教育を行います。

- ⑪オリンピック・パラリンピック教育の成果を継続し、子どもの体力向上に取り組むとともに、トップアスリートと触れ合ったり日本の伝統文化や多文化理解を深めたりする体験を設定します。
- ⑫健康で丈夫な体をつくるために、自己の目標を設定して粘り強く取り組むことを指導します。また、低学年を中心にコーディネーショントレーニングを低学年を中心に推進していきます。
- ⑬様々な状況を想定した避難訓練、防災教育、交通安全教育を計画的に実施して、自他の命を守る方法を身に付ける指導をします。
- ⑭個人目標と学級・学年目標達成を目指して、協力して学校行事に取り組む子どもを育てます。
- ⑮新型コロナ感染防止や保護者参観の仕方を工夫した運動会や文化的行事の再構築をしていきます。

### (4) 「特色ある教育活動」に継続して取り組みます。 <●印は十分実施できなかった項目>

- 小中連携（四谷中、四谷小で授業研究会）
- 保幼小連携（四谷子ども園との交流など）
- 環境（地域クリーン活動 花いっぱい運動等）
- 情報教育（タブレット活用やICT能力育成）
- 国際理解（マレーシアやフランスとの交流）
- 福祉体験（シッティングバレー体験等）
- キャリア教育（生き方教育）
- 姉妹校交流（天童干布小との交流行事）
- 課外活動（四谷小金管バンド）
- 社会科教育（令和5年度全国大会第一会場校）

### (5) ご家庭のご協力をお願いします。

しつけは家庭の大切な役割です。担任と連携・協働してよい習慣を育てましょう。

- ご家庭と連携し、家庭学習の習慣を身に付けましょう。（学年×10分の家庭学習をしましょう。）
- 挨拶や場に応じた言葉遣いができる言語環境を整えましょう。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」「テレビやゲーム（タブレット）の時間を決め守る」ことを続けましょう。
- 遅刻をさせないように、8時5分～15分に学校の門を通れるよう、家を出すようにしましょう。
- 忘れ物は学習に支障が出ます。お子さんが忘れ物をしていないかどうか確認をしましょう。
- スマートフォン等をお子さんに持たせるときは、危険なサイトにアクセスやゲーム等の課金をすることがないように、必ず「家族の約束」を「四谷小SNSルール」を参考につくりましょう。
- 学校に「携帯電話やスマートフォン」を持ち込むことは禁止です。やむを得ない事情で校内での所持を希望するご家庭は、申込書をご提出ください。
- 行事等で写した写真や動画、児童間のトラブルなどをSNS等に投稿することはご遠慮ください。
- 体育着の着替えは、下着の着用する場合は下着の着替えをもたせてください。3年生以上は更衣室、1・2年生は教室で着替えます。低学年教室に、着替え用仕切りカーテンの設置を順次すすめます。

## 4 今年度の重点

### (1) GIGAスクール構想の実現に向けて

GIGAタブレットを効果的に活用し、子どもの「学びたい」「できる」を実現していきます。

### (2) 新型コロナ感染防止に対応した教育活動の再編成

- ・昨年度からの新型コロナウイルス感染予防の取組を継続し、安心して生活できる環境をつくります。
- ・遠足、学芸祭、運動会などの学校行事の内容や参観を含めた実施方法の見直しを行います。

### (3) 基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上

挨拶、遅刻、言葉遣い、廊下歩行、交通法規、遊びのルールなどについて、家庭と連携して、下学年は基本的な生活習慣の定着に重点を置き、上学年は規範意識の醸成に重点を置き、教職員で情報を共有して、協働して指導に取り組んでいきます。

### (3) 安全・安心の取組の充実を進めます

新型コロナ感染対策を講じた上で、避難所開設訓練（過去2年間中止）を学校公開日に実施して一部の児童が参加できるよう準備します。また、災害大地震などの災害緊急時の登下校訓練、熱中症対策などを計画的に進めていきます。

### (4) 児童が主体的に学習に取り組む態度の育成

四谷スタイルの授業を推進して児童が主体的に学んでいこうとする態度を育てていきます。

- ・児童の意欲を高め、児童が問いやめあてを明確に意識できる授業をします。
- ・ICTや思考ツール、板書を効果的に活用して友達と協働的に考えを深め合う授業をします。
- ・学習を振り返って自分が学んだことを価値づけて、次の学習へつなげる授業をします。

## 5 その他研究推進校の指定等

(1) 令和4年度 国立教育政策研究所 教育課程実践検証協力校（小学校社会）

(2) 令和5年度 全国小学校社会科研究協議会研究大会（全国大会・東京大会第一会場校）